

## 5. 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

構築物、車両運搬具、什器備品及びソフトウェア……定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金……役員及び職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜き方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	68,850,115	0	115	68,850,000
小 計	68,850,115	0	115	68,850,000
特定資産				
退職給付引当資産	196,348,028	8,698,143	22,764,790	182,281,381
減価償却引当資産	19,559,880	742,725	0	20,302,605
公益事業積立資産	106,914,000	0	0	106,914,000
排水設備工事責任技術者資格 認定事業安定化積立金	1,562,000	0	1,562,000	0
下水道維持管理データシ ステム整備事業積立資産	13,428,000	0	6,623,000	6,805,000
下水道技術者養成事業積 立資産	5,000,000	0	1,000,000	4,000,000
下水道事業費貸付金	116,107,000	0	45,117,000	70,990,000

小 計	458,918,908	9,440,868	77,066,790	391,292,986
合 計	527,769,023	9,440,868	77,066,905	460,142,986

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	68,850,000	(68,850,000)	(0)	—
小 計	68,850,000	(68,850,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	182,281,381	—	—	(182,281,381)
減価償却引当資産	20,302,605	—	(20,302,605)	—
公益事業積立資産	106,914,000	—	(106,914,000)	—
排水設備工事責任技術者資格 認定事業安定化積立金	0	—	(0)	—
下水道維持管理データシ ステム整備事業積立資産	6,805,000	—	(6,805,000)	—
下水道技術者養成事業積 立資産	4,000,000	—	(4,000,000)	—
下水道事業費貸付金	70,990,000	—	(70,990,000)	—
小 計	391,292,986	(0)	(209,011,605)	(182,281,381)
合 計	460,142,986	(68,850,000)	(209,011,605)	(182,281,381)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	540,000	539,999	1
車両運搬具	7,915,254	7,452,488	462,766
什器備品	13,184,940	12,310,118	874,822
ソフトウェア	21,719,100	20,446,295	1,272,805
合 計	43,359,294	40,748,900	2,610,394

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産 福島県公募公債5年 29年度 2回	68,850,000	68,946,390	96,390
特定資産 福島県公募公債5年 29年度 2回	205,470,000	205,757,658	287,658
合 計	274,320,000	274,704,048	384,048

## 6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	34,340
合 計	34,340

## 7 その他

### (1) 正味財産増減計算書の表示方法の変更

前年度までは「県北処理区維持管理受託収益」などの科目を受取補助金等として区分していたが、より適正に表示するため、当年度より事業収益としている。

## 6. 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

### 2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	17,137,367	17,888,327	17,137,367	0	17,888,327
退職給付引当金	196,348,028	8,686,634	22,753,281	0	182,281,381